

卒業に当たって一言

2012 年度卒業生 2013.3.25.

鈴木

大学での4年間、特に研究室での1年はとても大変でしたが、これからはその経験を生かして頑張っていこうと思います。

井澤

大学を卒業し就職してから、2週間が経った。学生と社会人の違いを痛感する日々だが、ここで改めて学生生活を振り返りたいと思う。

私は、神奈川大学に入学する前、大学生というものは遊べるものだと考えていた。しかし、いざ入学してみると講義に毎回出席し、実験のレポートに追われる日々だった。(といいつつ、それなりに遊んでいたと今は思う。)

大学生活で最も印象に残っているのは、研究室での生活だった。物質生命化学科では、3年生の後期から研究室に配属される。私は、松本研究室に配属され、めっきの研究をすることになった。そして一年半、卒業研究や研究室内のこと、外部との交流を通して多くのことを学んだ。

1つ学んだことをあげると、人のつながりは大事だということである。卒業研究を1人で行うことはできないだろう。わからない結果がでたとき、先生や先輩、同期の力を借りずには乗り越えることはできなかった。そして、学会発表や他の大学との交流を通して、自分の研究をまとめあげ、形にできたのだと思う。これからも、このつながりを大切にしていきたい。最後に、松本先生をはじめ神奈川大学の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。世の中に求められているような製品が作れるように、全力で努めてまいります。

入井

松本研第一期生として、研究室の立ち上げと共に研究生活を歩んでこれた貴重な経験は、今後の人生に良い影響を与えてくれると思います。研究を支え続けてくれた関係者の方々に今一



度お礼を申し上げます。

北田

松本研究室の一期生として配属されてからの、三年間本当にありがとうございました。私が無事卒業し、就職できたのは偏に松本先生のご指導ご鞭撻があったからだと思えます。研究室での経験を活かして、社会人として頑張っていきたいと思えます。大学院まで進学させてもらった両親には、本当に感謝しています。本当にありがとうございました。また佐藤祐一先生や小林玄器先生など多くの先生方にも大変お世話になりました。ありがとうございました。



渡辺

乾電池購入の際にはぜひとも富士通乾電池をよろしく！！

藤井

松本研究室で過ごした時間は、一年間という短い時間ではありましたが、とても充実した日々でした。研究だけでなくプライベートでも仲の良いメンバーであり、一年間を通して苦しくも楽しい日々だったと思えます。

自分だけでは、何もうまくできなかつたと思えます。それでも周りの先輩や同期の仲間に助けられながら、無事卒業することができました。今後は、社会人として研究室で培った研究の知識だけでなく、いろいろなことを活かしていきたいと思えます。

斧淵

大学四年間、終わってみるとあっという間でした。研究室で過ごした最後の一年間はいろいろなワクワクドキドキ、そしてハラハラを経験でき、非常に充実した毎日だったと思えます。社会人になったばかりの今は新しい事の連続で戸惑っていますが、早くこの環境に慣れて活躍していけるように頑張ります。ありがとうございました。



森田

私の大学生活の中で最も濃かったのが研究

室生活です。私はもともと医療系に興味があり、医薬の研究ができる有機系の研究室に進むつもりでしたが、研究室紹介で松本研究室が自立移動体（ナノマシン）の研究をしていることを知り、これは面白いんじゃないかと方向転換して無機系の松本研究室を第一希望としました。研究室に配属されてからは夏ごろまでいろいろな移動体の研究をしましたが、その中で最初に移動する兆しを見せた酵素を用いた移動体が卒業研究になりました。これは糖を移動の原料にするため体内での運用が期待でき、とてもわくわくしました。そんな研究をするなかで先生や先輩、同期には大変お世話になりました。自分一人では研究をまとめることも、一年間研究を続けることもできなかつたと思います。また、外部での発表の機会をいただいたことで、いろいろな方と意見を交換でき、そのことも研究を続ける活力につながつたと思います。松本研究室で得た経験は必ずどこかで役に立つものと思います。一年間ありがとうございました。

石黒

大学生活で特に印象にのこっているのはやはり研究室での一年間です。研究室は同期のメンバーをはじめ先輩や経験豊富な先生方が居り、さらに他大学や企業の方々との交流が豊富でした。私はこの環境の中、研究や勉強、特には遊んだり、とても充実した日々を過ごせたと思います。これからは大学生活での経験を生かし、社会人として頑張っていこうと思います。